

## 前回合同部会（第6回環境部会、第5回アクティビティ・マネジメント部会）

## の振り返り

（前回会議）

日時：平成31年1月17日（木）

場所：熊本市動植物園 緑の相談所 2階会議室

	ご意見	対応
1	●ゾーニングの環境保全を優先するエリアについて、なぜそこが重要なのかしっかりと整理し、設定する必要がある。	・計画の骨子（案）を公表するにあたり、バックデータとして整理する。
2	●湧水ポイントについて、水辺にコンクリートが張られて出なくなってしまうところを確認することも必要と思う。	・今後部会で再生エリアを検討していく。
3	●水際域について、環境保全エリアだけではなく、再生できるエリアというのもあると思う。	
4	●トイレを快適に使用できるようなデザインは必要であると思う。（ユニバーサルデザイン、環境保全型など）	
5	●江津湖のマップ（トイレ、遊び場、生きものなど）を周辺施設に配ると、例えば広木地区から上江津地区に行くといった公園内の繋がりが出てくるのではないかと思う。	・今後の検討事項。
6	●異なるゾーニングの接点、全体の一体感についてゾーニング図で示すことができればよいと思う。（水前寺地区と出水地区の連携など）	
		・資料3ゾーニングにおいて反映。 今回部会の検討事項。

7	●ゾーニングについて言葉で書いてあるが江津湖を知っている方以外の方にも分かるように具体的に何をするとどこか明示した方がいいと思う。	・資料3ゾーニングにおいて反映。 今回部会の検討事項。
8	●水前寺地区と出水地区間の電車通り下の川を子ども達が魚をとって歩いて、うまく遊びの場所に変えることができると江津湖へのアプローチが広がると思う。	・今後の検討事項。
9	●「再生」と「アクティビティ」を絡ませることが出来るエリアがあってもいいと思う。	・資料3ゾーニングにおいて反映。 今回部会の検討事項。
10	●公園を訪れてみたくなるネーミングが必要だと思う。(人の暮らしの延長として想像できるようなもの)	
11	●江津湖周辺で無農薬(水を守る)の農産物をつくっている農家さんと連携していくこともよいのではないか。	・今後の検討事項。
12	●外来魚の「食品化」という施策事業は難しいと思う。	・施策事業から削除。
13	●外国人観光客の受け入れについて、何を目的に、どれくらいの規模で受け入れるかを決めた上で整理した方がいいと思う。	・今後の検討事項。